

平成27年度 いでは文化記念館運営協議会 会議概要

○日 時 平成28年 3月25日(金) 15時00分～16時30分

○場 所 いでは文化記念館 2階研修室

○出席委員(順不同)

島津 慈道、粕谷 典史、後藤 赴司、藤田 昌信、工藤 純平

○市側出席者

羽黒庁舎 産業課観光商工室：伊藤 義明室長、坂田観光商工専門員、日向専門員

○次 第

1 委嘱状の交付

2 開 会

3 会長・副会長の互選

4 会長挨拶

5 協議

1) 平成27年度事業実施状況について

2) 平成28年度事業計画(案)について

3) その他

6 閉 会

○公開・非公開の別

公開

【会議の概要】

- 1 委嘱状の交付
- 2 開 会
- 3 会長・副会長の互選
- 4 会長挨拶（島津 慈道）
- 5 協 議

（１）平成２７年度事業実施状況について

◆内容（報告：事務局）

- ・平成２７年度いでは文化記念館事業実績
- ・平成２７年度いでは文化記念館 入場 人数・売上

◆質問意見等

〔委員〕

昨年度の入館者数と比べどうなのか。

〔事務局〕

昨年度は羽黒山午歳御縁年であったが入館者数は例年より少なかった。

羽黒山頂の蜂子社御開扉に合わせて真っ直ぐ山頂へ向かうお客様が多かったように思われる。

（２）平成２８年度事業計画（案）について

◆内容（報告：事務局）

- ・平成２８年度いでは文化記念館企画展示（案）
- ・平成２８年度いでは文化記念館事業（案）

◆質問意見等

〔委員〕

出羽三山古文書を活用した古文書解読歴史講座は指定管理後もぜひ続けてほしい。

〔委員〕

企画展示記念イベントについて、お竹大日如来の落語をする方が東京の方にいらっしゃる。また地元の図書ボランティア出羽路会の作成した大型紙芝居も活用してはどうか。

山形大学教授の岩鼻通明先生が歴史地理学の面で出羽三山を研究しておられ、羽黒山の修験者が「お竹大日如来伝説」を作り上げた、というような講話が聴けると思う。江戸時代の絵図等も詳しいため絡めながら講演していただいたらどうか。

〔委員〕

羽黒山歴史探訪の「門前町・手向を歩く パートⅠ」とあるが、パートⅡはどこを散策するのか。

〔事務局〕

黄金堂周辺から行尊塚を通り烏崎稻荷神社まで。ちなみにパートⅢは桜小路～古墓町～随神門を歩くコース。

3) その他

◆内容（報告：事務局）

- ・いでは文化記念館冷暖房料金の設定について
- ・いでは文化記念館使用料等の減免に関する要綱について
- ・いでは文化記念館における飲酒に関する要綱
- ・今後のいでは文化記念館の運営に対する要望

◆質問意見等

[委員]

施設利用申し込みは沢山あるか。

[事務局]

少ない。

[委員]

企画展示、講座、講演会等の記録や図録を半年ごとに作成し、できれば販売していただきたい。都合がつかず参加できなかった人たちからの声もいくつか聞いている。

[事務局]

観光協会に運営が移行してからは販売も可能かと思われる。

[委員]

常設展示室の滝の劇場、映像シアターなどの視覚展示ゾーンのリニューアルを希望する。滝の劇場は出羽三山の年間の祭事を月ごとに紹介する映像にしてはどうか。また、映像シアターの映像が古すぎる。

[委員]

保管庫に収蔵している「羽黒町史編纂資料」はとても貴重な古文書が原本で残っている。状態が劣化するのを防ぐため、一度きちんと調査・整理、保存のためのコピーをし、閲覧できるようにしてはどうか。また、この資料を活用した企画展示（修験と周辺地域の民衆との関係等）の開催も十分可能。貴重な史料を眠らせてはいけない。

[委員]

図書室の活用、機能を充実させてほしい。

また元羽黒町長・勝木貞蔵氏が寄贈した図書資料が図書室の4分の1を占めている。貴重書を所蔵しているゆえに常時施錠されているため「勝木貞蔵コレクション」を気軽に閲覧できない。

政治・経済等の本、また各種全集等良い図書が揃っているので、地元手向の地域活動センターに移管することはできないか。

または新羽黒庁舎に増設される図書館に移管することはできないか。

[事務局]

書籍の移管については寄贈された方の気持ちやスペース的な問題もあり総務企画課と検討する。

◆次年度運営協議会の開催について

次回は事業予算作成時期の9月か10月を予定。